

令和5年度

学生募集要項 入学案内

推薦	願書受付期間	令和5年1月5日(木)～1月11日(水)
	適性検査(数学)・面接検査	令和5年1月21日(土)
	選抜結果の通知(内定)	令和5年1月27日(金)
	入学確約書提出期限	令和5年2月2日(木)
	追試験(適性検査(数学)・面接検査)	令和5年2月4日(土)
	追試験(選抜結果の通知(内定))	令和5年2月8日(水)
	追試験(入学確約書提出期限)	令和5年2月15日(水)
学力	願書受付期間	令和5年1月24日(火)～1月27日(金)
	学力検査	令和5年2月12日(日)
	追試験(学力検査)	令和5年2月26日(日)
合格者発表		令和5年2月20日(月)
合格者発表(追試験(学力検査))		令和5年3月1日(水)
入学手続		令和5年3月7日(火)

*今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合がありますので、随時、本校ホームページの「入試情報」をご確認願います。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

久留米工業高等専門学校

目 次

【募集要項】

I 募集人員	1
II 選抜の方法	1

推薦による選抜

1 出願資格	1
2 WEB 出願エントリー及び出願手続	2
3 個人情報の取扱い	3
4 選抜方法	3
5 適性検査（数学）及び面接検査の日時及び検査場	4
6 選抜結果の通知（内定通知）	4
7 入学確約書の提出	4
8 追試験の実施	4
9 合格内定されなかった者の取扱い	5
10 合格者の発表	5
11 入学手続	5

学力検査による選抜

1 出願資格	6
2 WEB 出願エントリー及び出願手続	6
3 個人情報の取扱い	7
4 選抜方法	8
5 学力検査の日時及び検査場	8
6 追試験の実施	9
7 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について	9
8 合格者の発表	10
9 入学手続	10
III 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	11
IV 受験上の注意事項	12
V 検査場案内	13
VI 学力検査による選抜を受験した者の入試成績の開示について	14

【WEB 出願について】	15
--------------	----

【入学案内】	16
--------	----

令和5年度 学生募集要項

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

本校が求める人物像は、次のとおりです。

- ① 技術者になる意欲をもっている人
- ② 理数系の基礎学力が身についている人
- ③ 自立心があり、社会的ルールを守って行動できる人
- ④ 他の人と対話と通して相互理解を深めようとする人

I 募集人員

学 科 名	募 集 人 員	うち推薦による募集人員
機 械 工 学 科	40名	8 名 程 度
電 気 電 子 工 学 科	40名	8 名 程 度
制 御 情 報 工 学 科	40名	8 名 程 度
生 物 応 用 化 学 科	40名	8 名 程 度
材料システム工学科	40名	8 名 程 度

II 選抜の方法

入学者の選抜は、**推薦**によるものと**学力検査**によるものの二つの方法で行います。

推 薦 に よ る 選 抜

1. 出願資格

令和5年3月に中学校卒業見込みの者、義務教育学校を卒業見込みの者、中等教育学校前期課程修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者で、次の要件を満たし、第1志望学科について、学校長が責任をもって推薦できる者としします。

- (1) 合格した場合は、必ず入学する者
- (2) 合格内定されなかった場合でも、学力検査による選抜を受験する者
- (3) 中学校若しくは中等教育学校前期課程における第2学年と第3学年、又は義務教育学校の最終2学年の9教科の評定（5段階評価）の総計が77以上の者
- (4) 理数系科目への適性を有する者
- (5) その学科を志望する動機、理由が明確、適切である者
- (6) 人物が優れている者

2. WEB 出願エントリー及び出願手続

出願手続は、出願サイトで行う「WEB 出願エントリー」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。詳細は、下記(1)～(2)をご参照ください。

(1) WEB 出願エントリー及び出願書類提出期間

① WEB 出願エントリー

令和4年12月20日（火） ～ 令和5年1月11日（水）

本校ホームページから「入試情報」のページにアクセスし、本冊子「WEB 出願について」（15 ページ）や本校ホームページの「WEB 出願使い方ガイド」を参考に、入学検定料 16,500 円及び手数料等を納付の上、エントリーしてください。

② 出願書類提出期間

期 間：令和5年1月5日（木） ～

令和5年1月11日（水）17時まで（必着）

*** 郵送（簡易書留）のみとします。**

（やむを得ず持参する場合は、事前にご相談願います。）

*** 受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。**

郵送先：〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号

久留米工業高等専門学校 学生課教務係

WEB 出願エントリー完了後、次の表のすべての書類を整え、在籍学校長を通じて、本校学生課教務係へ郵送してください。出願書類は、必ず WEB 出願サイトマイページから出力される「宛名票」を貼り付けた封筒（角2号）に入れ、提出してください。

提出書類	摘 要
1 写 真 票	WEB 出願サイトマイページから印刷し、提出してください。 写真は、出願前3か月以内に撮影した、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）のものを使用。
2 調 査 書	本校所定の様式に在籍学校長が作成したもの。 （第3学年の記録は、令和4年12月末現在で記入してください。）
3 推 薦 書	本校所定の様式に在籍学校長が作成したもの。
4 推薦選抜志望調書	本校所定の様式を使用し、志願者本人が自筆で作成したもの。

※2、3及び4の各様式は、WEB 出願サイトマイページもしくは、本校ホームページ（<https://www.kurume-nct.ac.jp/>）の「入試情報」のページよりダウンロードし、A4縦書きで印刷したものを使用してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ・出願にあたり、「WEB 出願について」（15 ページ）を必ず確認してください。
- ・受験票は、入学検定料お支払い後、WEB 出願サイトマイページから印刷可能です。
- ・必要書類を提出し、出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。令和 5 年 1 月 12 日（木）を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は、本校 学生課教務係にお問い合わせください。

3. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料の免除または徴収猶予に係る申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

注 意 事 項

1. 出願書類に不備があるものは受け付けません。また、WEB 出願エントリーで入力した内容や出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 出願書類提出後は、志望学科及びその他記載事項の変更は認めません。
3. 受理した出願書類及び出願書類を受理した後の検定料は返還しません。
納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合上記の場合は、本校学生課教務係へ連絡願います。

4. 選抜方法

調査書等提出された書類及び適性検査（数学）・面接検査をもとに、総合的に判定します。

5. 適性検査（数学）及び面接検査の日時及び検査場

期 日	検 査 場	集合時刻	検 査 時 間	
令和5年 1月21日(土)	久留米工業高等 専門学校	9時50分	適性検査 (数学)	10時15分～ 11時
			面接検査	12時～ (個人面接)

注 意 事 項

1. 適性検査（数学）は、マークシートではありません。

6. 選抜結果の通知（内定通知）

令和5年1月27日（金）に、出身学校長及び本人に、選抜結果の通知書を発送します。（電話、ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

7. 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は、令和5年2月2日（木）までに「入学確約書」を必ず提出してください。

8. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、令和5年1月21日（土）に実施する推薦による選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和5年2月4日（土）に追試験を実施します。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
※上記については、中学校等の長による証明書を必要とします。

ただし、医療機関による証明でも可能です。

※該当する場合は、本校学生課教務係へご相談願います。

※追試験受験者の選抜結果の通知は、令和5年2月8日（水）に、出身学校長及び本人に、選抜結果の通知書を発送します。

※追試験により合格内定通知を受けた者は、令和5年2月15日（水）までに、「入学確約書」を必ず提出してください。

9. 合格内定されなかった者の取扱い

「推薦による選抜」は、第1志望だけで査定します。合格内定されなかった場合、「学力検査による選抜」志願者として取り扱いますので、「推薦による選抜」のWEB出願エントリーの際に、志望学科名を第2・第3志望まで入力してください。また、学力検査場も選択してください。「学力検査による選抜」志願者として取り扱う場合は、改めてWEB出願エントリー及び出願書類（検定料の納入を含む。）の提出は必要ありません。

10. 合格者の発表

令和5年2月20日（月）10時に、合格者の受験番号を本校内に掲示し、合格者に対しては、合格通知書を発送します。（電話、ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

本校ホームページ（<https://www.kurume-nct.ac.jp/>）に、11時ごろ合格者の受験番号を発表します。ただし、正式な合否は、本校内の掲示板により確認してください。

11. 入学手続

合格者は、令和5年3月7日（火）に、入学に要する諸手続を行いますので、保護者同伴の上、出校してください。また、入学料については、令和5年3月6日（月）までに納付してください。

なお、当日入学手続を行わない者は、入学を許可しません。

学 力 検 査 に よ る 選 抜

1. 出願資格

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校前期課程を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
- (4) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第95条)

2. WEB 出願エントリー及び出願手続

出願手続は、出願サイトで行う「WEB 出願エントリー」と写真票等の必要書類を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。詳細は、下記(1)～(2)をご参照ください。

- (1) WEB 出願エントリー及び出願書類提出期間

① WEB 出願エントリー

令和5年1月12日(木) ～ 令和5年1月27日(金)

本校ホームページから「入試情報」のページにアクセスし、本冊子「WEB 出願について」(15 ページ)や本校ホームページの「WEB 出願使い方ガイド」を参考に、入学検定料 16,500 円及び手数料等を納付の上、エントリーしてください。

② 出願書類提出期間

期 間：令和5年1月24日(火) ～

令和5年1月27日(金) 17時まで(必着)

*郵送(簡易書留)のみとします。

(やむを得ず持参する場合は、事前にご相談願います。)

*受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。

郵送先：〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号

久留米工業高等専門学校 学生課教務係

WEB 出願エントリー完了後、次の表のすべての書類を整え、在籍(出身)学校長を通じて、本校学生課教務係へ郵送してください。出願書類は、必ずWEB 出願サイトマイページから出力される「宛名票」を貼り付けた封筒(角2号)に入れ、提出してください。

提出書類	摘要
1 写真票	WEB 出願サイトマイページから印刷し、提出してください。 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した、上半身・脱帽・正面向き（縦 4 cm×横 3 cm）のものを使用
2 調査書	本校所定の様式に在籍(出身)学校長が作成したもの。
3 出願承諾書	現在、高等学校又は中等教育学校後期課程に在学中の者は、当該学校長の出願承諾書（任意様式）を提出してください。

※2の様式は、WEB 出願サイトマイページもしくは、本校ホームページ (<https://www.kurume-nct.ac.jp/>) の「入試情報」のページよりダウンロードし、A 4 縦書きで印刷したものを使用してください。

(2) 出願に関する注意事項

- ・出願にあたり、「WEB 出願について」（15 ページ）を必ず確認してください。
- ・受験票は、入学検定料お支払い後、WEB 出願サイトマイページから印刷可能です。
- ・必要書類を提出し、出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。令和 5 年 1 月 3 0 日（月）を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は、本校 学生課教務係にお問い合わせください。

3. 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料の免除または徴収猶予に係る申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

注 意 事 項

1. 出願書類に不備があるものは受け付けません。また、WEB 出願エントリーで入力した内容や出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 出願書類提出後は、志望学科及びその他記載事項の変更は認めません。
3. 受理した出願書類及び出願書類を受理した後の検定料は返還しません。
納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
 - ・ 検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・ 検定料を重複で納付した場合
 上記の場合は、本校学生課教務係へ連絡願います。

4. 選抜方法

学力検査、在籍(出身)中学校長から提出された調査書及び志望順位をもとに総合的に判定します。

なお、配点は、次のとおりです。

理科	英語	数学	国語	社会	調査書	合計
100 点×1.5	100 点	100 点×1.5	100 点	100 点	135 点	735 点

※調査書の配点は、各学年 9 教科の評定（5 段階評価）の合計 135 点満点とします。

5. 学力検査の日時及び検査場

期 日	教 科	時 間	検 査 場
令和 5 年 2 月 1 2 日（日）	理 科	9 時 30 分～10 時 20 分	久留米工業高等 専門学校
	英 語	10 時 50 分～11 時 40 分	
	数 学	12 時 10 分～13 時 00 分	
	国 語	13 時 50 分～14 時 40 分	
	社 会	15 時 10 分～16 時 00 分	

注 意 事 項

1. 全ての教科でマークシート方式による解答方法となります。解答用紙の記入には黒鉛筆（HB）を使用してください。
2. 受験場の下見は令和 5 年 2 月 1 1 日（土）14 時から 16 時までです。
ただし、建物内には入れません。
3. 学力検査当日は、8 時 55 分までに指定された検査場の検査室に集合してください。

6. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、**令和5年2月12日(日)**に実施する学力検査による選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、**令和5年2月26日(日)**に追試験を実施します。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に感染し、本試験を受験できない者

イ 新型コロナウイルス感染症に罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
※上記については、在籍(出身)中学校等の長による証明書を必要とします。

ただし、医療機関による証明でも可能です。

※該当する場合は、本校学生課教務係へご相談願います。

※学力検査の追試験受験者への合格発表は、**令和5年3月1日(水)10時**に、合格者の受験番号を本校内に掲示し、合格者に対しては、合格通知書を発送します。

7. 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は、本校以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、下記問い合わせ先まで必ず事前の相談をお願いします。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：久留米工業高等専門学校学生課教務係

電 話：0942-35-9315・9316

相談期間：令和4年11月1日(火)～令和5年1月26日(木)

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受入状況を随時更新します。

: <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>



(機構ホームページ)

※「推薦による選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

8. 合格者の発表

令和5年2月20日（月）10時に、合格者の受験番号を本校内に掲示し、合格者に対しては、合格通知書を発送します。（電話、ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

本校ホームページ（<https://www.kurume-nct.ac.jp/>）に、11時ごろ合格者の受験番号を発表します。ただし、正式な合否は、本校内の掲示板により確認してください。

なお、入学手続後に欠員が生じた場合は、追加合格者を出すことがあります。

9. 入学手続

合格者は、令和5年3月7日（火）に、入学に要する諸手続を行いますので、保護者同伴の上、出校してください。また、入学料については、令和5年3月6日（月）までに納付してください。

なお、当日入学手続を行わない者は、入学を許可しません。

Ⅲ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

久留米工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに久留米高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願書類提出期限の一か月前にあたる令和4年12月27日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口(担当係名)学生課教務係(電話番号) 0942-35-9315・9316

(FAX) 0942-35-9319 (MAIL) Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

IV 受験上の注意事項

1. 推薦による選抜

- (1) 検査は、久留米工業高等専門学校で行いますので、受験者は、検査当日 9 時 50 分までに指定された場所に集合してください。
- (2) 遅刻による検査室への入室限度時刻は検査開始後 20 分とします。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により、検査開始後 20 分以上遅刻した者は、必ず検査場の本部に申し出てください。
- (3) 検査室からの検査時間中の退室は、用便又は発病等やむを得ない場合を除き、認めません。
- (4) 受験票を紛失した場合は、検査場で仮受験票の発行を申し出てください。
- (5) 適性検査（数学）の際、受験票は必ず机の上に置いてください。
- (6) 適性検査（数学）の受験中は、黒鉛筆（HB）・黒シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの）以外のものは、使用してはいけません。下敷・定規・コンパス・分度器・電子計算機付腕時計等の計算用具、その他検査の公正さを損なう恐れのあるものは、検査室への持ち込みを認めません。
- (7) 携帯電話及びその他通信機器の検査室への持ち込みは認めません。
- (8) 昼食は各自で用意してください。昼食は検査室でとつても差し支えありませんが、ゴミは各自持ち帰ってください。
- (9) 上履きを持参する必要はありません。

2. 学力検査による選抜

- (1) 検査は、久留米会場（久留米工業高等専門学校）又は最寄り地検査場（全国にある 51 の国立高等専門学校とその他設置している会場）で行います。久留米会場の受験者は、検査当日 8 時 55 分までに指定された検査室に集合してください。最寄り地検査場の受験生は、その検査場で検査を実施する高専の指示に従ってください。
- (2) 遅刻による検査室への入室限度時刻は検査開始後 20 分とします。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により、検査開始後 20 分以上遅刻した者は、必ず各検査場の本部に申し出てください。
- (3) 検査時間中の退室は、用便又は発病等やむを得ない場合を除き、認めません。
- (4) 受験票を紛失した場合は、検査場で仮受験票の発行を申し出てください。
- (5) 受験票は、必ず机の上に置いてください。
- (6) 受験中は、黒鉛筆（HB）・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの）以外のものは、使用してはいけません。下敷・定規・コンパス・分度器・電子計算機付腕時計等の計算用具、その他学力検査の公正さを損なう恐れのあるものは、検査室への持ち込みを認めません。

- (7) 携帯電話及びその他の通信機器の検査室への持ち込みは認めません。
- (8) 昼食は各自で用意してください。昼食は検査室でとても差し支えありませんが、ゴミは各自持ち帰ってください。
- (9) 上履きを持参する必要はありません。

3. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への検定料免除

主たる家計支持者が令和4年度に災害救助法適用地域に居住していて被災し、市区町村等の発行する罹災証明書等の交付を受けた方は、検定料が免除となる制度があります。

該当する場合には、出願前に、本校学生課教務係までご連絡願います。

V 検査場案内



主なルートを5つ示します。

1. JR博多駅→特急30分→JR久留米駅 JR久留米駅から西鉄バス8番「高専」行きに乗車→12分→高専前、またはタクシーで8分
2. 福岡空港 → 高速バス45分 → 西鉄久留米バスセンター 西鉄バス4番のりばから8番「高専」行きに乗車 → 20分 → 高専前、またはタクシーで12分
3. 西鉄大牟田線福岡駅→特急30分 → 西鉄久留米駅 西鉄バス4番のりばから8番「高専」行きに乗車 → 20分 → 高専前、またはタクシーで12分
4. 西鉄大牟田線福岡駅→急行45分→宮ノ陣駅 タクシーで6分(徒歩25分)
5. 自家用車→九州自動車道久留米ICから国道210号線経由で20分

久留米工業高等専門学校

(久留米市小森野1-1-1) 電話：0942-35-9315 (学生課)

VI 学力検査による選抜を受験した者の入試成績の開示について

学力検査による選抜の受験者が希望する場合、次のように入試成績の開示を行います。

なお、推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので、注意してください。

1. 申請者

学力検査による選抜の受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 総得点（学力検査の得点と調査書の内申点の合計点）
- (3) 合格順位
- (4) 各学科における合格最低点

3. 申請期間

令和5年3月7日（火）から4月28日（金）まで。（4月28日（金）消印有効）

4. 申請に必要な書類

- ① 久留米工業高等専門学校入試成績開示申請書
- ② 本校受験票
- ③ 返信用封筒（長形3号の封筒に、本人の郵便番号・住所（入学願書に記載されている住所に限ります。）・氏名を明記の上、簡易書留料金の切手404円分を貼ること。）

（注）入試成績開示申請書は、本校ホームページ

（<https://www.kurume-nct.ac.jp>）から入手することができます。

5. 申請方法

申請は、上記4の書類の提出を、本校学生課教務係の窓口（土・日、祝日を除く。）で直接行うか又は郵送により行ってください。（4月28日（金）消印有効）

6. 開示の方法

本校所定の様式により、申請の際に提出された返信用封筒を使用し、郵送により開示します。（発送は準備が整い次第行います。）

7. 郵送先、問い合わせ先

〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
電話 0942-35-9315・9316

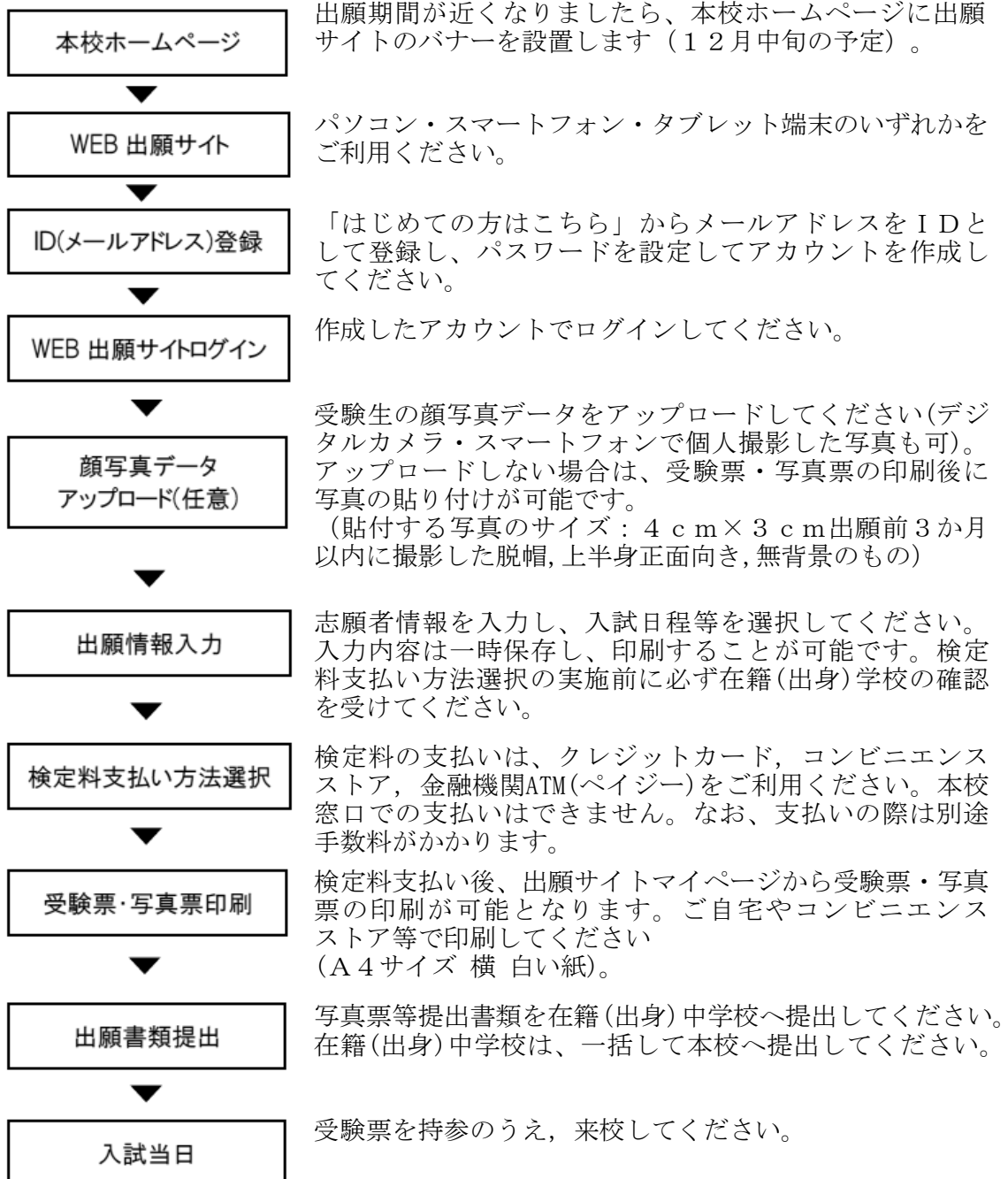
(推薦・学力検査共通)

WEB出願について

全ての選抜でWEB出願を行います。パソコン、スマートフォン、タブレット端末から出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等をWEB上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。

手続きの流れは以下のとおりです。

《手続きの流れ》



入 学 案 内

1. 本校の沿革

本校は、昭和14年久留米高等工業学校が設立されたことに始まり、久留米工業専門学校、久留米工業短期大学（昭和33年設立）と変遷し、実践的技術者の養成という時代の要請を受けて、昭和39年に現在の久留米工業高等専門学校となりました。

平成5年4月には、九州で最初に専攻科が設置され、優れた教授陣と充実した設備を誇っています。

2. 教育理念

自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成

3. 各学科の教育目的・目標

○機械工学科

教育目的

ものづくりの精神を基本とし、機械技術者としての基礎能力や専門技術を修得し、創造性豊かで国際的視野に立った実践的技術者を育成する。

教育目標

機械技術者としての素養を備え、次の専門分野に関する基礎知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・材料強度 ・機械力学 ・設計製図 ・生産加工
- ・制御、情報 ・熱、流体 ・機械工学に関連した周辺技術

○電気電子工学科

教育目的

先端技術であるエレクトロニクスとICT、及びこれらを支える電気エネルギーの専門知識を修得し、高度情報通信社会に貢献できる実践的、創造的電気電子技術者を育成する。

教育目標

電気電子技術者としての素養を備え、次の専門分野に関する専門知識と技術を修得し、それらを総合的に活用できる能力を養成する。

- ・エレクトロニクス ・情報通信技術（ICT）
- ・電気エネルギー、パワーエレクトロニクス
- ・電気電子工学に関連した周辺技術

○制御情報工学科

教育目的

制御、情報を中心とした幅広い専門知識を修得し、広い視野と豊かな創造性を備え、さまざまな産業分野において活躍できる実践的能力に優れた技術者を育成する。

教育目標

メカトロニクスや情報の分野で活躍できる技術者になるために必要な次の分野の基礎的な知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・メカトロニクス、コンピュータ制御
- ・情報工学、通信ネットワーク
- ・制御情報工学に関連した周辺技術

○生物応用化学科

教育目的

化学工業、バイオ工業に必要な基礎・専門知識及び技術者素養を修得し、個別の知識を複合化して使いこなし、社会に貢献できる実践的・創造的技術者を育成する。

教育目標

化学工業、バイオ工業に必要な次の専門分野に関する専門知識、豊富な実験技術を修得し、環境に配慮し技術者倫理を守って、それらを課題解決及び企画立案に活用できる能力を養成する。

(両コース共通)

- ・化学、生物の基礎
- ・化学工学、環境工学
- ・情報リテラシー
- ・技術者素養

(応用化学コース)

- ・有機化学、高分子化学
- ・ポリマー工学
- ・機能性有機材料

(生物化学コース)

- ・生物有機化学
- ・バイオプロセス工学
- ・遺伝子細胞工学

○材料システム工学科

教育目的

ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでの材料に関する一連の専門知識を身につけ、社会の発展に貢献できる技術者を育成する。

教育目標

金属、セラミックス、高分子材料などに関する次にあげる基礎的な知識や技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・構造、性質、機能
- ・製造プロセス、加工、リサイクルに関する技術
- ・設計、解析、評価
- ・材料工学に関連した周辺知識

4. 修業年限

5 年

5. 教育課程

科目名は、令和 4 年度の教育課程のものです。今後、変更する場合があります。

(1)一般科目

区分	科目名		科目名
必修科目	国語 1 国語 2 リテラシー実践 地理 歴史 公共 人文社会科学探求 1 人文社会科学探求 2 数学 1 数学 2A 数学 2B 数学 3A 数学 3B 物理 化学 1 化学 2 生物 生物学 1 地学		英語 1 英語表現 1 英語 2 英語表現 2 英語 3 応用英語 1 応用英語 2 保健体育 1 保健体育 2 保健体育 3 生涯スポーツ 1 生涯スポーツ 2 美術 音楽 リベラルアーツ特論 1 リベラルアーツ特論 2
	※備考 生 物：機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、材料システム工学科 生物学 1：生物応用化学科 地 学：機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、材料システム工学科 美 術：機械工学科、電気電子工学科、生物応用化学科、材料システム工学科 音 楽：電気電子工学科		
選択科目	第二外国語	中国語 韓国語 フランス語	

(2)専門科目

区分	科 目 名				
	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	生物応用化学科	材料システム工学科
必修科目	確率・統計	電気電子工学基礎	制御情報工学概論	生物学2	材料システム工学入門
	応用数学1	電磁気学1	化学実験	基礎無機化学	情報リテラシー
	応用数学2	電磁気学2	応用物理1	酸塩基化学	情報処理1
	応用物理1	電磁気学3	応用物理2	基礎有機化学1	情報処理2
	応用物理2	電気回路1	応用物理実験	基礎有機化学2	応用数学1
	応用物理実験	電気回路2	応用数学1	物理化学1	応用数学2
	化学実験	電気回路3	応用数学2	物理化学2	応用数学3
	機械工学導入セミナー	半導体工学	確率統計	無機化学1	応用物理1
	安全工学と工業倫理	応用物理1	離散数学	無機化学2	応用物理2
	工業英語	応用物理2	信号処理	有機化学1	材料加工実習
	機械工学セミナー	確率統計	情報理論	有機化学2	図学
	図学	応用数学1	工業倫理と安全	高分子化学1	基礎設計製図
	機械製図1	応用数学2	製図	有機金属化学	応用設計製図・CAE
	機械製図2	電気機器工学1	加工実習	有機合成化学	電気電子工学概論
	CAD演習	電気機器工学2	機構学	高分子化学2	機械加工学
	機械製図3	パワーエレクトロニクス	CAD演習	機能有機材料	基礎材料化学
	機械設計製図	高電圧工学	機械工学概論	応用化学実験	セラミックス材料学1
	機械要素設計実験	電力発生工学	電気回路1	ポリマー工学	セラミックス材料学2
	機械設計法1	電力システム	電気回路2	生物有機化学	材料化学1
	機械設計法2	電力応用	電子回路	遺伝子・細胞工学	材料化学2
	機構学	機械工学概論	電磁気学	代謝工学	物理化学1
	工業力学	制御工学	パワーエレクトロニクス	生物工学実験	物理化学2
	機械力学	情報リテラシー	半導体材料工学	バイオ工学	高分子材料学
	材料力学1	プログラミング1	物質工学概論	化学工学1	電気化学1
	材料力学2	プログラミング2	通信工学	化学工学2	電気化学2
	四力学演習	プログラミング3	電子情報実験	機器分析	環境工学
	情報リテラシー	計算機アーキテクチャ	シーケンス制御	工業物理化学1	金属物理学1
	制御情報工学概論	論理回路	計測工学	工業物理化学2	金属物理学2
	制御工学	電子回路	制御工学1	機械工学概論	材料物性学1
	機械加工学	マイコン制御	制御工学2	電気電子工学概論	材料物性学2
	精密加工学	電気電子計測	ロボット工学	基礎溶液化学	材料力学
	品質管理	情報理論	制御工学実験	化学平衡論	塑性加工学
	機械加工実習1	情報インフラストラクチャー	情報処理基礎	酵素構造工学	材料組織学
	機械加工実習2	通信ネットワーク	プログラミング1	応用数学	材料強度学
	機械加工実習3	技術社会の安全と倫理	プログラミング2	応用物理1	金属材料学1
	材料システム工学概論	電気施設管理	プログラミング3	応用物理2	金属材料学2
	流体工学	コミュニケーション	オブジェクト指向プログラミング	応用物理実験	融体加工学
	流体機械	システム工学	数値計算法	環境工学	材料評価学
	工業熱力学	電気電子CAD	データ構造とアルゴリズム	情報化学1	工業英語
	伝熱工学	電気電子設計	データベース基礎	情報化学2	安全工学・工業倫理
	機械工学実験	電気電子材料	ソフトウェア工学	化学工学基礎	品質工学
	卒業研究	生物応用化学概論	オペレーティングシステム	情報処理演習	化学実験
	電気電子工学概論	化学実験	コンパイラ	創造化学実験	応用物理実験
	化学工学概論	応用物理実験	電子計算機基礎	分析化学実験	材料システム実験1
		総合基礎演習	論理回路	基礎生物化学実験	材料システム実験2
		電気電子演習1	デジタル回路設計	有機化学実験	材料システム実験3
		電気電子演習2	計算機アーキテクチャ1	生物化学実験	材料システム実験4
		電気電子演習3	計算機アーキテクチャ2	物化・化工実験	材料システム実験5
		電気電子実験1	計算機ネットワーク	生物応用化学入門	卒業研究
		電気電子実験2	情報セキュリティ	品質・安全工学	
		電気電子実験3	データサイエンスと人工知能1	産業財産権・工業倫理	
		卒業研究	データサイエンスと人工知能2	卒業研究	
			創造プログラミング演習	工業英語	
			情報通信実験		
			卒業研究		
選択科目	短期インターンシップ	短期インターンシップ	短期インターンシップ	科学技術史	短期インターンシップ
				短期インターンシップ	接合工学・複合材料 金属熱処理論

6. 入学時に必要な経費

費 目	金 額	摘 要
入 学 料 (注1)	84,600円	納付期限：令和5年3月6日(月)
授 業 料 (注2)(注3)	前期分 117,300円	年額 234,600円
教 科 書 代 等 (注4)	約 70,000円	
そ の 他 諸 経 費	約 40,000円	
合 計	約 311,900円	

(注1) 入学手続後の入学料は返還しません。

(注2) 上記の納付金額は入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

(注3) 1～3年生は、高等学校等就学支援金制度の対象となります。

(注4) 教育方法の改善により、教科書代等教材費が増額される場合があります。

(注5) 入学時に必要としませんが、4年生で国内工場見学旅行を行うので、3～4年生で別途11万円程度の積立が必要となります。

(注6) 入学後に学生用ノートパソコンが必要となります。詳細は、入学手続き時にご案内します。

7. 授業料支援

本校1～3年生については「高等学校等就学支援金」制度の対象となっており、受給のための申請を行っていただくことで「就学支援金」が支給されます。この就学支援金制度は、親権者の「市町村民税の課税標準額」×6%－「市町村民税の調整控除額」※1で計算される算定基準額によって支給額の審査が行われ、15万4500円未満の方は授業料全額相当分が支給されます。算定基準額が30万4200円以上の方は所得制限となり支給はありませんので、授業料の満額をご負担いただくことになります。

なお、就学支援金は直接の受取ではなく、納付する授業料から受給額が差し引かれます。

※1 課税地が指定都市の場合は、調整控除額に3/4を乗じる。

8. 入学料の免除及び徴収猶予制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受ける等入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

9. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、特に優れた学生であって経済的に修学が著しく難しいと認められる人に対して、選考の上、奨学金が貸与されます。詳細は日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

10. 学生寮

本校敷地内に寄宿舎があります。

男子寮(4階建)は、1室1名用、2名用と3名用のあわせて141室、収容定員は、210名です。また女子寮(3階建)は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員は30名です。

入寮に関しては、選考があります。ご希望に添えない場合もあります。

費 目	月 額	摘 要
寄 宿 料	700円	1名部屋以外
	800円	1名部屋
給 食 費	約 30,000円	朝・昼・夕食付
光 熱 水 料 費 等	8,000円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 38,800円	

(注1)上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

(注2)上記の納付金額は、入寮時及び在寮中に改定される場合があります。

11. 課外活動

本校では、勉学はもとより有意義な学生生活を送るため課外活動にも力を入れており、現在次のクラブがあります。

体 育 系 ク ラ ブ

陸 上 競 技 部
水 泳 部
バスケットボール部
バレーボール部
サ ッ カ ー 部
ラ グ ビ ー 部
テ ニ ス 部
卓 球 部
バドミントン部
硬 式 野 球 部
柔 道 部

剣 道 部
弓 道 部
合 気 道 部
ハ ン ド ボ ー ル 部
ソ フ ト テ ニ ス 部
サイクリング同好会

技 術 系 ク ラ ブ

自 動 車 部
ロボットコンテスト部
プログラミングラボ部
鳥 部

文 化 系 ク ラ ブ

英 会 話 部
吹 奏 楽 部
軽 音 楽 研 究 部
茶 道 部
囲 碁 将 棋 部
美 術 部
新 聞 文 芸 部
華 道 部
写 真 部
ピ ア ノ 同 好 会
ダ ン ス 同 好 会

12. 卒業後の進路

(1) 就職

過去5年間の卒業生の主な就職先

機 械 工 学 科	電 気 電 子 工 学 科	制 御 情 報 工 学 科	生 物 応 用 化 学 科	材 料 シ ス テ ム 工 学 科
三菱重工業	九 州 電 力	N T T データ	出 光 興 産	日 本 製 鉄
川崎重工業	中 国 電 力	富 士 通	宇 部 興 産	日本冶金工業
日産自動車	中 部 電 力	NECフイルディング	A G C	東 洋 鋼 鉄
本田技研工業	西日本旅客鉄道	本田技研工業	E N E O S	栗 本 鐵 工 所
S U B A R U	電 源 開 発	トヨタテクノエンジニアリング	花 王	三井金属鉱業
ブリヂストン	三菱電機エンジニアリング	ファナック	サントリー	J X 金 属
ヤンマー建機	ヤマハエンジニアリングシステムズ	セイコーエプソン	資 生 堂	アーレステイ
カシフジ	富 士 通	九 州 電 力	昭栄化学工業	京 セ ラ
ダイキン工業	平 田 機 工	中 部 電 力	第一三共	宇 部 興 産
安 川 電 機	エコミナルシステムズ	積水化学工業	ダイキン工業	日本タンクステン
N O K	栄 電 舎	三 井 化 学	中 外 製 薬	日 産 自 動 車
日本精工九州	日産自動車九州	ダイキン工業	東 洋 イ ン キ	L I X I L
I - P E X	N S ウ エ ス ト	西日本旅客鉄道	東 レ	日 本 精 工
昭栄化学工業	西 部 ガ ス	水 i n g	日 東 電 工	ジェイテクト
ファナック	I - P E X	浜松ホトニクス	ニ プ ロ	N O K
キヤノン	N H K	鳥 越 製 粉	三菱ガス化学	東 プ レ
L I X I L	NTTフイルムテクノ	I - P E X	森 永 乳 業	DOWAエンジニアリング
東海旅客鉄道	国 立 印 刷 局	三井ハイテック	ラ イ オ ン	高周波熱錬

(2) 進学

本校には、平成5年度に設置された2年生の特例適用専攻科があり、機械・電気システム工学専攻、物質工学専攻の2専攻があります。専攻科は、高等専門学校における教育の上に、高度な研究開発や先端技術分野における先端的な技術を担い、広く産業の発展に寄与できる技術者を育成します。

専攻科修了者は、大学改革支援・学位授与機構の一定の要件を満たせば学士の学位を取得でき、さらに専攻科終了後は、大学院へ進学することもできます。

また、大学の3年次への編入学制度があり、長岡技術科学大学と豊橋技術科学大学をはじめ、国公立大学へ編入学できます。

本校専攻科及び大学編入学合格状況

卒業年度 大学等名		卒業年度			卒業年度 大学等名		卒業年度			
		令和元	令和2	令和3			令和元	令和2	令和3	
国	本校専攻科	44	47	49	国立	広島大学	2		1	
	長岡技術科学大学	2	3	1		愛媛大学		1		
	豊橋技術科学大学	10	9	9		山口大学			1	
	北海道大学			1		九州大学	10	10	9	
	室蘭工業大学			1		九州工業大学	7	10	10	
	東北大学	2		1		佐賀大学	9	6	11	
	筑波大学	2	1			熊本大学	5	5	6	
	千葉大学		2	2		宮崎大学	1			
	東京農工大学	1	1			鹿児島大学			1	
	東京工業大学	1	3	1		モンゴル科学技術大学	1			
立	東京海洋大学	1			公立	大阪府立大学		1		
	お茶の水女子大学	1				山口東京理科大学	1		1	
	信州大学	1				下関市立大学			1	
	静岡大学		1	1	私立	東京都市大学			1	
	名古屋大学		1	1		東京理科大学		1	1	
	名古屋工業大学			1		日本大学			1	
	京都大学		1			中央大学			1	
	京都工芸繊維大学	1				長崎総合科学大学	1			
	大阪大学	1	4			合計		104	108	113
	岡山大学		1							
・平成30年度以前に合格実績がある上記以外の国立大学 岩手大学、秋田大学、茨城大学、山形大学、東京大学、埼玉大学、横浜国立大学、山梨大学、宇都宮大学、岐阜大学、名古屋工業大学、新潟大学、福井大学、金沢大学、富山大学、滋賀大学、奈良女子大学、三重大学、和歌山大学、神戸大学、鳥取大学、島根大学、徳島大学、高知大学、山口大学、長崎大学、琉球大学、広島商船高専専攻科 等										

受験に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒 8 3 0 - 8 5 5 5

福岡県久留米市小森野一丁目 1 番 1 号

電 話 0 9 4 2 - 3 5 - 9 3 1 5 (学生課直通)

0 9 4 2 - 3 5 - 9 3 1 6 (")

F A X 0 9 4 2 - 3 5 - 9 3 1 9

ホームページ <https://www.kurume-nct.ac.jp/>

